

令和4年度 自己評価アンケートまとめ

職員による自己評価

- ・環境面においては、室内は十分な広さがあり、パーテーションを使用する事で状況に応じた対応もしやすい。また、隣接するおれんじ村など過ごしやすい環境も整っている。
- ・児童については、職員間で情報共有し、支援の統一に努める事が出来ているが、スキルアップの為の研修の機会は十分とは言えない。必要に応じ、学校との連携を図り支援の統一に努める事が出来ている。
- ・支援については、ご利用者の日々の様子や障害特性に合わせて活動を進めることが出来ている。
- ・ご家庭、ご利用者との意思疎通や情報伝達の配慮については意識し取り組んでいる。
- ・非常時の対応については、避難訓練を行いお便りにて周知しているが、その他の対策については職員間での再確認と周知が必要と思われる。

保護者による評価

- ・環境や支援提供については良い評価を頂いたが、成長に合わせた活動プログラムの工夫を望むご意見も頂いた。
- ・保護者会については現時点ではコロナ禍にある為難しいが、情報交換の場として再開を望むご意見が多かった。
- ・ご利用者、ご家庭との意思疎通や情報伝達については、多くのご家庭から良い評価を頂いた。
- ・非常時の対応マニュアルや必要な訓練については、周知されているとの回答が多い中、把握出来ていない、どちらとも言えないとのご意見も多数頂いた。



事業所内での分析

- ・非常時の対応で、どちらとも言えないという意見も多数頂いたので、今後職員間で再確認しながら各ご家庭への周知が必要。
- ・支援提供については、多数のご家庭からご理解を頂いているが、個別の課題に合わせ、より柔軟な活動プログラムの工夫が望まれる。

事業所の強み

- ・室内外共に環境面が整っている為、臨機応変な対応や支援に活かせる。
(短時間でも外活動の時間が持てる。) (作業所の様子を身近に感じたり活動としても体感できる。)
(他事業所や作業所の利用者様、異年齢の児童など様々な関わりの場となっている。)
- ・その日の児童の様子、個々の特性や関心等に合わせ活動を工夫するようにしている。
- ・職員間で児童の様子を日々情報共有する事で、個々の課題の共通理解に努める事が出来ている。
- ・人員配置については、必要に応じて事業所間での協力体制を取ることが出来ている。

事業所の改善点

- ・非常時の対応や各マニュアルについては、保護者への更なる周知が必要になっていく。
- ・職員研修の機会を確保し、また日々のミーティングや振り返りの時間をしっかり作っていく。

事業所の改善への取り組み

- ・非常時の対応については、継続して訓練を行いながら職員間で再確認し、迅速に対応出来るよう努める。また、面談やお便りにて周知しながら、保護者様の不安や疑問に対しては職員間で話し合いながら問題解決していく。
- ・研修またはミーティングを行いながら、利用者への理解も深め、質の向上と支援の統一を図っていく。
- ・職員配置数を整える事で、活動や個々の状況に合わせ柔軟な対応が出来るようにしていく。